

# 令和7年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果について

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

県立学校におけるセクハラ防止に向けて、教職員及び生徒のセクシュアル・ハラスメントに関する理解を深めるとともに、セクハラの実態を把握し、被害に対応する。

### 2 調査対象等

(1) 県立高等学校(全課程)134校、県立中等教育学校(後期課程)2校、県立特別支援学校(高等部)29校の全ての生徒及び教職員(外部指導者を含む)。

(2) 調査対象人数は、生徒約115,000人、教職員等約16,000人。

(3) 調査内容

- ・生徒自身が受けたセクハラ被害の実態
- ・生徒が実際に見たり相談されたりした、他の生徒が受けたセクハラ被害の実態
- ・学校生活以外のセクハラで悩んでいたたり、困っていたりする生徒の実態等
- ・学校生活全般における教職員等による児童・生徒へのセクハラの有無と実態

### 3 調査対象期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで(7月と12月の年2回に分けて調査実施)。

### 4 調査方法

(1) 生徒は、パソコン、スマートフォン等から回答又は学校で配付する回答用紙を県教育委員会に郵送(無記名回答も可)。

(2) 教職員等は、原則、回答用紙に記名の上で校長に提出。(自分以外の教職員等の行為についての回答は無記名での提出も可。)

## II 調査の結果（概要）

### 1 生徒を対象とした調査

#### (1) 被害状況

##### ①被害の内訳

令和7年度				令和6年度			
自分自身の被害	他の生徒の被害	学校生活外の悩み	計	自分自身の被害	他の生徒の被害	学校生活外の悩み	計
100	73	48	221	91	81	33	205

##### ②「自分自身が被害を受けた」の行為者及び被害内容（被害内容は複数回答可）

・被害内容は「必要もないのに体を触られた」が39件で最も多く、昨年度から増加した。

被害内容	行為者 (下段：人数)	令和7年度					令和6年度				
		先生	生徒	部活動の指導者	その他	計	先生	生徒	部活動の指導者	その他	計
		33	66	0	1	100	36	50	1	4	91
必要もないのに体を触られた		14	25	0	0	39	12	22	0	2	36
性的なからかいや冗談などを言われた		5	13	0	0	18	14	20	0	2	36
着替え中に部屋に入ってきた		6	10	0	1	17	4	5	0	0	9
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた		0	8	0	0	8	0	6	0	0	6
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた		0	4	0	0	4	0	2	0	0	2
キスや性的な関係を求められた		0	3	0	0	3	0	7	0	0	7
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた		0	1	0	0	1	5	4	0	0	9
その他		14	28	0	0	42	15	15	1	0	31
件数合計（延べ）		39	92	0	1	132	50	81	1	4	136

※行為者「その他」の具体的内容：施設管理者

※被害内容の件数が多い順に並べている

③「自分自身が被害を受けた」という回答の性別被害件数（被害件数は複数回答あり）

	令和7年度				令和6年度			
	男	女	その他	計	男	女	その他	計
被害件数 合計	47	80	5	132	42	80	14	136

(2) 被害の回答に対する当該校の調査結果

①先生を行為者とする被害の特定状況

	令和7年度	令和6年度
特定件数	39 (27人)	45 (30人)
回答件数	82	82
特定率	47.6%	54.9%

※（ ）内の数字は行為者の人数。同一人物に複数の回答がある場合があり、特定件数と人数が不一致。

②特定された教職員の属性

性別		男	女				
	令和7年度	23 (85.2%)	4 (14.8%)				
	令和6年度	28 (93.3%)	2 (6.7%)				
年齢		20代	30代	40代	50代	60代以上	
	令和7年度	6 (22.2%)	5 (18.5%)	2 (7.4%)	5 (18.5%)	9 (33.3%)	
	令和6年度	0 (0.0%)	6 (20.0%)	9 (30.0%)	1 (3.3%)	14 (46.7%)	

③当該校の対応

・当該校の校長に対して事実確認等の調査及び対応を依頼し、校長は、加害教職員が判明した場合は当該教職員に直接指導し、判明しなかった場合も全教職員や生徒に対する注意喚起等を行った。

2 教職員等を対象とした調査

(1) 回答状況

	令和7年度	令和6年度
回答のあった学校数	3	3
本人の申告	0	0
他教職員からの目撃情報等	4	5
(上記のうち無記名回答数)	(0)	(2)

※無記名回答は、令和6年度調査から実施

## (2) セクハラ行為の内容

- ・「生徒との距離感の近さ」 2件、「不適切な発言」 2件

### Ⅲ 総括

- 被害状況について、回答数が令和6年度調査と比較して16件増の221件となっており、その中で「自分自身が被害を受けた」とする回答が9件、「学校生活外の悩み」とする回答が15件それぞれ増加している。
- 「自分自身が被害を受けた」とする案件の行為者として、先生（教職員）が行為者とする件数が減少（36件→33件）した一方で、生徒が行為者とする件数は増加（50件→66件）している。
- 「自分自身が被害を受けた」とする案件の具体的な内容は、「必要もないのに体を触られた」とする回答が依然として多く、「性的なからかい冗談などを言われた」は減少している。
- 「自分自身が被害を受けた」と回答した性別属性について、女子生徒の被害件数（複数回答あり）は昨年度から変化がない（80件→80件）一方で、男子生徒の被害件数が増加（42件→47件）している。
- 生徒を対象とした調査において「先生を行為者」とする被害で特定された教職員の年代属性について、昨年度と比べ、40代（9件→2件）と60代以上（14件→9件）が減少しているものの、60代以上は依然として最も多い。また、昨年度と比べ、20代（0件→6件）と50代（1件→5件）が増加している。

### Ⅳ 今後の対応

県立学校におけるセクハラを許さない学校風土づくり、人権教育の一層の推進に向けて、総合教育センターで実施する研修等や今回の調査結果及び調査結果に基づく具体例などを示した「神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料」を活用した校内研修等を行い、教職員のセクハラ未然防止に向けた意識啓発を行う。

また、啓発資料等を活用して、「生命（いのち）の安全教育」の視点を踏まえつつ、セクハラ行為についての生徒の意識向上を図るとともに、被害を受けた場合の相談方法や相談窓口の周知等を行う。

## 令和7年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果について（集計結果）

### 【生徒を対象とした調査】

#### 1 回答状況

##### （1）校種別回答数

	令和7年度	令和6年度
高等学校・中等教育学校	207	200
特別支援学校	14	5
計	221	205

##### （2）回答学校数

	令和7年度			令和6年度		
	回答学校数	学校数	回答率※	回答学校数	学校数	回答率
高等学校	95	134	70.9%	90	134	67.2%
中等教育学校	1	2	50.0%	1	2	50.0%
特別支援学校	12	29	41.4%	5	29	17.2%
計	108	165	65.5%	96	165	58.2%

※ 回答率＝回答のあった学校数÷学校数

##### （3）性別の回答状況

	令和7年度				令和6年度			
	男	女	その他	計	男	女	その他	計
回答数	81	122	18	221	63	116	26	205
割合	36.7%	55.2%	8.1%	100%	30.7%	56.6%	12.7%	100%

##### （4）学年別の回答状況

	令和7年度					令和6年度				
	1年	2年	3年	4年・他	計	1年	2年	3年	4年・他	計
回答数	106	66	49	0	221	92	76	36	1	205
割合	48.0%	29.9%	22.2%	0%	100%	44.9%	37.1%	17.6%	0.5%	100%

## 2 被害状況

### (1) 被害の内訳

	令和7年度				令和6年度			
	自分自身の被害	他の生徒の被害	学校生活外の悩み	計	自分自身の被害	他の生徒の被害	学校生活外の悩み	計
件数	100	73	48	221	91	81	33	205
割合	45.2%	33.0%	21.7%	100%	44.4%	39.5%	16.1%	100%

### (2) 「自分自身が被害を受けた」の行為者

令和7年度					令和6年度				
先生	生徒	部活動の指導者	その他	計	先生	生徒	部活動の指導者	その他	計
33	66	0	1	100	36	50	1	4	91

・その他の内訳（令和7年度）：施設管理者 1件

### (3) 「自分自身が被害を受けた」という回答のセクハラ的行為者別被害内容（被害内容は複数回答可）

	令和7年度					令和6年度				
	先生 (33人)	生徒 (66人)	部活動の指導者 (0人)	その他 (1人)	計 (100人)	先生 (36人)	生徒 (50人)	部活動の指導者 (1人)	その他 (4人)	計 (91人)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	8	0	0	8	0	6	0	0	6
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	4	0	0	4	0	2	0	0	2
性的なからかいや冗談などを言われた	5	13	0	0	18	14	20	0	2	36
必要もないのに体を触られた	14	25	0	0	39	12	22	0	2	36
キスや性的な関係を求められた	0	3	0	0	3	0	7	0	0	7
着替え中に部屋に入ってきた	6	10	0	1	17	4	5	0	0	9
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	0	1	0	0	1	5	4	0	0	9
その他	14	28	0	0	42	15	15	1	0	31
計	39	92	0	1	延べ 132	50	81	1	4	延べ 136

(4) 「自分自身が被害を受けた」という回答の性別被害内容 (被害内容は複数回答可)

	令和7年度				令和6年度			
	男 (35人)	女 (60人)	その他 (5人)	計 (100人)	男 (24人)	女 (58人)	その他 (9人)	計 (91人)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	2	6	0	8	0	6	0	6
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	4	0	4	0	1	1	2
性的なからかいや冗談などと言われた	7	11	0	18	11	21	4	36
必要もないのに体を触られた	15	21	3	39	12	21	3	36
キスや性的な関係を求められた	1	2	0	3	1	6	0	7
着替え中に部屋に入ってきた	10	7	0	17	3	5	1	9
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	0	1	0	1	4	3	2	9
その他	12	28	2	42	11	17	3	31
計	47	80	5	延べ 132	42	80	14	延べ 136

(5) 「自分自身が被害を受けた」という回答の学年別被害内容 (被害内容は複数回答可)

	令和7年度					令和6年度				
	1年 (50人)	2年 (30人)	3年 (20人)	4年・ 不明 (0人)	計 (100人)	1年 (43人)	2年 (35人)	3年 (13人)	4年・ 不明 (0人)	計 (91人)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	4	2	2	0	8	4	1	1	0	6
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	2	2	0	0	4	0	2	0	0	2
性的なからかいや冗談などと言われた	12	3	3	0	18	16	15	5	0	36
必要もないのに体を触られた	21	11	7	0	39	16	15	5	0	36
キスや性的な関係を求められた	2	1	0	0	3	3	1	3	0	7
着替え中に部屋に入ってきた	9	2	6	0	17	3	4	2	0	9
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	0	1	0	0	1	2	5	2	0	9
その他	18	17	7	0	42	12	14	5	0	31
計	68	39	25	0	延べ 132	56	57	23	0	延べ 136

(6) 自分自身の被害についての対応 (複数回答可)

	令和7年度	令和6年度
何もしなかった	35	31
態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた	37	27
友だち、家族など身近な人に相談した	41	41
学校の先生や相談窓口などに相談した	19	24
その他	10	5
計	142	128

(7) 自分自身の被害の回答時の状況 (複数回答可)

	令和7年度	令和6年度
被害を受けなくなった	35	40
被害を受け続けている (調査時まで)	44	34
二次被害を受けた	1	2
その他	25	18
計	105	94

・その他の内容： わからない、たまにある、自分以外が被害を受けている (可能性含む) など

3 「学校生活以外でのセクハラについて、悩んでいた、困っていたりすること」の記述回答の内容の分類

	令和7年度	令和6年度
痴漢	16	5
不審者	5	3
アルバイト先での被害	5	9
家族や校外の友人等からの被害	4	0
性別による決めつけ	0	0
インターネットによる被害	5	5
セクハラへの不安	7	1
性的なからかい	1	3
性的な関係を迫られた	2	0
必要もないのに体を触られた	2	3
その他	1	4
計	48	33

4 被害の回答に対する当該校の事実確認等の調査結果 (令和7年度)

(1) 先生を行為者とする被害の特定状況

	令和7年度	令和6年度
特定件数	39(27人)	45(30人)
回答件数	82	82
特定率	47.6%	54.9%

(2) 特定された教職員の行為内容の内訳

	令和7年度	令和6年度
性的なからかいや冗談	8	5
必要もないのに体を触られた	12	12
着替え中に部屋に入ってきた	2	3
性別による決めつけ	0	1
その他	5	9
計	27	30

(3) 特定された教職員の属性

性別		男	女			
	令和7年度	23 (85.2%)	4 (14.8%)			
令和6年度	28 (93.3%)	2 (6.7%)				
年齢		20代	30代	40代	50代	60代以上
	令和7年度	6 (22.2%)	5 (18.5%)	2 (7.4%)	5 (18.5%)	9 (33.3%)
	令和6年度	0 (0.0%)	6 (20.0%)	9 (30.0%)	1 (3.3%)	14 (46.7%)

(4) 特定された案件の教職員の年齢と被害内容の相関

		20代	30代	40代	50代	60代以上	計
		性的なからかいや冗談	令和7年度	2	2	0	0
	令和6年度	0	1	2	0	2	5
必要もないのに体を触られた	令和7年度	3	2	1	2	4	12
	令和6年度	0	3	2	1	6	12
着替え中に部屋に入ってきた	令和7年度	0	0	0	1	1	2
	令和6年度	0	0	2	0	1	3
性別による決めつけ	令和7年度	0	0	0	0	0	0
	令和6年度	0	0	0	0	1	1
その他	令和7年度	1	1	1	2	0	5
	令和6年度	0	2	3	0	4	9
計	令和7年度	6	5	2	5	9	27
	令和6年度	0	6	9	1	14	30

## [教職員等を対象とする調査]

### 1 回答状況

	令和7年度	令和6年度
回答のあった学校数	3 (高校・中等2、特支1)	3 (高校・中等2、特支1)
本人の申告	0	0
他教職員からの目撃情報等 (そのうち、無記名の回答)	4 (0)	5 (2)

### 2 回答の内容 (複数回答あり)

	令和7年度	令和6年度
生徒との距離感の近さ (物理的、接し方)	2	1
必要のない身体接触	0	1
不適切な指導方法 (1対1の指導等)	0	1
体型等についての発言	0	1
不適切な発言	2	0
その他	0	2

### 3 行為者の教職員の属性 (人数)

性別		男	女				
	令和7年度	2	1				
	令和6年度	1	2				
年齢		20代	30代	40代	50代	60代以上	
	令和7年度	0	1	0	2	0	
	令和6年度	0	2	1	0	0	

生徒のみなさんへ

神奈川県教育委員会

令和7年度第2回学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査のお願い

このたび、県教育委員会では、令和7年度第2回学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)の実態把握に関する調査を実施します。

「セクハラに関する調査」は、県立学校におけるセクハラの実態把握と防止に向けた取組を進めることを目的に実施しますので、ご協力をお願いします。

回答内容は、調査の目的以外では利用しません。また、回答された個人情報などについては、秘密を守ります。ただし、セクハラ行為を止めるなどの具体的な対応が必要な場合を除きます。

【回答方法】

パソコン、スマートフォンなどのインターネットに接続可能な機器から、下に記載したURL、又はスマートフォン用二次元コードを使って回答する方法と、学校で配付する回答用紙と返信用封筒を使って回答する方法があります。同じ回答内容については、いずれか一つの回答方法のみで回答してください。

令和7年8月1日(金)以降にあったことで、下に記載したスマートフォン用二次元コードの右枠内に書かれた●の内容に該当する場合は、そのことについて回答してください。また、令和7年4月1日から7月31日までにあったことで、第1回の調査で回答できなかったことについても回答することができます。回答は、県教育委員会が迅速に対応するため、できるだけ令和8年1月13日(火)までに回答してください。(令和8年3月31日(火)まで受け付けます。)

○直接リンクURL

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList\_detail?tempSeq=109534

○スマートフォン用二次元コード



調査の該当事項

- 学校生活の中で、自分自身がセクハラ被害を受けた。
- 学校生活の中で、他の生徒がセクハラ被害を受けた現場を見たり、被害を受けた生徒から直接相談されたりした。
- 学校生活以外のセクハラで、現在、悩んでいた、困っていたりすることがある。

(※上の●に該当しない場合は、回答する必要はありません。)

また、事案の解決のため、回答はできるだけ具体的に書くようにしてください。

過去2年度分の調査結果については、神奈川県ウェブページに掲載しています。

【本調査の問合せ先】神奈川県教育委員会教育局行政部行政課人権教育グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話(045)210-8087(直通)

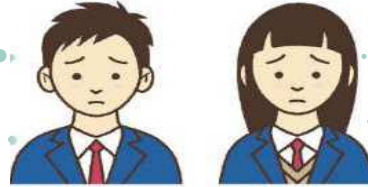
# 学校でのセクハラをなくすために～生徒のみなさんへ

セクハラとは、性的な発言や行為によって、相手を不快な気持ちにさせたり、相手を傷つけることをいいます。

## どんなことがセクハラになるの？

着替えのときに女子が更衣室に入ってくるのがいやだなあ。。。

何度も断っているのにしつこくデートに誘われていやだなあ。。。



肩を揉まれたけどいやだな。。。

さっきからジロジロ体を見られていやだなあ。。。

○発言や行為をした本人にはそのような意図がなくても、相手が不快に感じればセクハラになります。

○異性間だけでなく、同性間でも起こります。

○その他、こんなこともセクハラになります。

◆「女（男）にはまかせられない」「男（女）らしくない」など性別により決めつける

◆キスや性的な関係を求める ◆脚などを写真に撮る ◆しつこくデートにさそう など

### 令和6年度の調査では、こんな回答がありました

- 同性同士でも、不快になるような下ネタ話されるのは嫌だ。
- グループラインで、卑猥な画像が載せられた。
- 裸の写真を送ってほしいというメッセージがあった。
- 性的な経験について聞かれた。
- 男子がまだ着替えているのに、女子が教室に入ってきた。
- 女性同士でも、体を触られると不快。

### 知っておいてください！！

○生徒と教職員（部活動インストラクターも含む）が、SNSでやり取りをすることは禁止されています。生徒のみなさんも、私的に教職員等に対し連絡先を聞いたり、SNSで交流したりしないでください。

### 注意してください！！

○生徒間のセクハラ被害が増えています。また、男子の被害件数も増加しています。

○学校外の悩みごと・困りごととしてアルバイト先での被害や痴漢があります。一人で悩まず、身近な信頼できる人に相談してください。

### セクハラ等を受けたなら

○がまんしないで、相手に「やめてほしい」と伝えましょう。自分で伝えるのがむずかしいときは、身近な信頼できる人や学校の「校内人権相談窓口（校内に掲示しているポスターに記載してあります）」に相談しましょう。

○身近な人や学校に相談しにくいときは、次の県立総合教育センターの相談窓口も利用できます。

★県立学校におけるセクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口

電話相談 0466-81-1967 平日 8:45～12:00/13:00～16:45

メール相談 県立総合教育センターウェブページのメールフォームから ※年末年始は除く



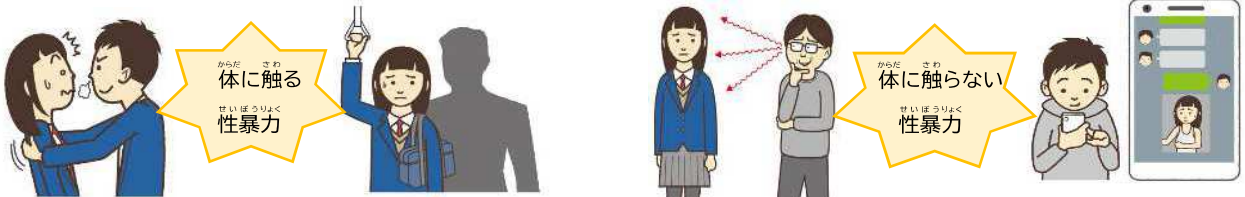
# 大切な心と体を守るために ~よりよい人間関係とは?~

## 性暴力とは?

性暴力とは、あなたが望まない性的な行為のことで、相手が恋人や家族・顔見知りだったとしても、あなたが望まない性的な行為はすべて性暴力です。

- 相手が嫌がっているのに、性的な言葉を言ったり、体を触ったり、見せつけたりするなど、性的な言葉や行動で人を傷つけることは性暴力です。
- 体に触る暴力だけが性暴力ではありません。
- 性別にかかわらず被害にあいます。

- ★悪いのは加害者です。
- ★被害にあった人は悪くありません
- ★どんな理由があっても性暴力は決して許されません。



## 性暴力はどうして起こるの?

性暴力は、お互いの関係が対等でない場面で起こりやすくなります。

- 先輩・後輩など、相手と上下関係がある場合だけでなく、同級生同士でも相手と対等な関係ではなくなることがあります。
- もし、相手の行為をいやだと感じて、相手に遠慮して自分の意見を言えなくなったときは、対等な関係ではないといえます。

~自分の気持ちを大切にすると同時に相手の気持ちを尊重しましょう~

## 性暴力が起きないようにするためには

性暴力の被害者と加害者を生まないためには、自分を大切に、相手も大切にして、相手とよりよい人間関係を作っていくことが大切です。

SNS等を通じた被害を例にすると…

自分を大切に  
大切にする

自分の下着姿や裸の写真を撮ったり、送ったりしない



相手を大切に  
大切にする

相手の下着姿や裸の写真を送らせたり、SNSに投稿したりしない



暴力をゆるさない

誰かの性的な写真が送られてきたら、そのままにしないで信頼できる人に相談しましょう



## (参考)

### 性犯罪や性暴力の被害にあった際の相談窓口

- 「かならいん」(かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター)  
電話相談 #8891 または 045-322-7379 (24時間365日)
- 24時間子どもSOSダイヤル(県立総合教育センター)  
(※性犯罪・性暴力の被害に限らず、子どもに関する幅広い相談に応じています。)  
電話相談 0120-0-78310 (24時間365日)

みなさんの大切な体と心を守るため、「生命の安全教育」について考えてみましょう。

加害者・被害者・傍観者に  
ならないように

もんぶかがくしやう (文部科学省HP) →



# セクハラに関する調査(令和7年度第2回) 回答用紙

令和7年8月1日からこれまでのあなたの学校生活におけるセクハラについて、当てはまるものの□にチェックしてください。

また、令和7年4月1日から令和7年7月31日までにあったことで、第1回の調査(7月にインターネットのみで実施)で回答できなかったものについても回答することができます。

<input type="checkbox"/> インターネットで既に回答している	→	調査は終了です。回答用紙を提出する必要はありません。
---	---	----------------------------

インターネットで回答をしていない場合は次の中から当てはまるものの□にチェックしてください。Ⅰ～Ⅲの複数にチェックすることができます。(学校生活以外のことはⅢにチェックを入れてください。)

<input type="checkbox"/> Ⅰ：自分自身が被害を受けた	→	質問1に回答
<input type="checkbox"/> Ⅱ：他の生徒が被害を受けた	→	質問2に回答
<input type="checkbox"/> Ⅲ：学校生活以外のセクハラで、 現在、悩んでいたり、困って いたりすることがある	→	質問3に回答
<input type="checkbox"/> Ⅰ～Ⅲのいずれにも当てはまらない	→	調査は終了です。回答用紙を提出する必要はありません。

## 回答を記入した人

記入したこの用紙を配付した封筒(体罰調査・セクハラ調査返信用封筒)に入れ、できるだけ令和8年1月13日(火)までにポストに入れてください。(1月14日以降も3月31日まで受け付けます)

配付した封筒は、**県教育委員会(〒231-8588 横浜市中区日本大通1 東庁舎7階 神奈川県教育委員会教育局 行政課人権教育グループ)**に届きます。

## 回答を記入していない人

この用紙は郵送しないでください。

**I からⅢに当てはまる場合には、まず、学校名等を記入してから質問に答えてください。**

学校名・学年、そして高等学校の生徒においては課程を必ず回答してください。性別・氏名の記入は任意です。

学校名 (当てはまる区分に「○」)	課程 (当てはまる区分に「○」)	学年	性別	氏名
高等学校	全日制・定時制・通信制	年(年次)生		
中等教育学校				
支援学校				

【質問1】自分自身が被害を受けた場合の質問です。複数件ある場合、3ページのA欄、B欄に記入してください。

けんめ  
1 件目

① あなたは、誰からセクハラを受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(○は一つしかできません。二人以上の人から被害を受けた場合は、2件目、3件目は、3ページのA欄、B欄に記入してください。)

ア: 先生

イ: 生徒

ウ: 部活動の指導者(顧問の先生以外)

エ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」と記入してください。)

②-1 セクハラを受けたことについて、どのような被害でしたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)

ア: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた。

イ: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた。

ウ: 性的なからかいや冗談などを言われた。

エ: 必要もないのに体を触られた。

オ: キスや性的な関係を求められた。

カ: 着替え中に部屋に入ってきた。

キ: 「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた。

ク: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」と記入してください。)

②-2 ②-1で回答したことについて、あなたはどうしましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(イ~オは複数○をすることができます。)

ア: 何もなかった。

イ: 態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた。

ウ: 友だち、家族など身近な人に相談した。

エ: 学校の先生や相談窓口などに相談した。

オ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」と記入してください。)

③ ②-1で回答したことについて、いつ被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」と記入してください。)

ア: 朝のホームルーム前 イ: 授業中 ウ: 休み時間中 エ: 昼休み時間中 オ: 放課後 カ: 部活動中

キ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」と記入してください。)

④ ②-1で回答したことについて、どこで被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)

ア: 普通教室      イ: 特別教室      ウ: 教科準備室      エ: 体育館や武道場      オ: グラウンドやテニスコートなど

カ: 廊下や階段      キ: 更衣室      ク: 部室

ケ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。)

⑤ ②-1で回答したことについて、現在、そのセクハラはどうなっていますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)

ア: 被害を受けなくなった。

イ: 被害を受け続けている。

ウ: 二次被害(※)を受けた。

エ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。)

※二次被害とは、被害を訴えた人が、周囲の人から無視や批判されたり非難されたりして、精神的打撃を受けること。

⑥ ②-1で回答したことについて、セクハラの実行者や、受けた被害の具体的な状況・内容などを、詳しく説明してください。

1件のみの場合には、質問1は終了です。

他にもあなたが被害を受けた場合には、上で回答した①～⑥を参考に、2件目、3件目の枠内に記入してください。

記入する内容がなければ、質問1は終了です。

2件目 (A欄)

3件目 (B欄)

【質問2】他の生徒が被害を受けた場合の質問です。

あなたが、他の生徒が学校生活の中でセクハラを受けた現場を見たり、被害を受けた生徒から直接相談されたりした場合は、次の枠を使用して、「誰が、誰から、どのような被害を、いつ、どこで受けたか」などについて、答えられる範囲で具体的に記入してください。

あなたが、他の生徒が被害を受けた現場を見たり、被害生徒から直接相談されたりしていない場合は、質問2は回答不要です。

※根拠のないうわさや悪口ではなく事実を書いてください。該当するものに○をつけ、( )には文章などで記入してください。

- ① 誰が( )
- ② 誰から ・先生 ・生徒 ・部活動の指導者(顧問の先生以外)  
・その他( )
- ③ どのような被害か( )
- ④ その後の対応は ・何もなかった  
・対応した場合の内容( )
- ⑤ いつ ・朝のホームルーム前 ・授業中 ・休み時間中 ・昼休み時間中 ・放課後 ・部活動中  
・その他( )
- ⑥ どこで ・普通教室 ・特別教室 ・教科準備室 ・体育館や武道場 ・グラウンドやテニスコートなど  
・廊下や階段 ・更衣室 ・部室 ・その他  
( )
- ⑦ 現在の被害の状況は ・被害を受けなくなった。 ・被害を受け続けている。 ・二次被害を受けた。  
・その他( )
- ⑧ 被害の具体的な内容について

【質問3】学校生活以外のセクハラで、現在、あなたが、悩んでいたり、困っていたりすることがあったら記入してください。特にない人は、質問3は回答不要です。

ご協力ありがとうございました。



3 あなたは、今年度（令和7年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、自分以外の教職員等による、児童・生徒に対してのセクハラ、あるいは児童・生徒からセクハラではないかと疑われる行為を見たことがありますか。

見たことがある場合は、その言動について具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	令和 年 月 日 時 頃 授業中・休み時間・部活動中・放課後・他（ ）
どこで	教室（ 年 組）・特別教室（ ） ・体育館・グラウンド・他（ ）
誰が	教職員等名（ ）
誰に	年 組 児童・生徒氏名（ ）
どのような言動か (具体的に)	